

# 带状疱疹予防接種について

## 1 带状疱疹について

带状疱疹は、過去に水痘にかかった時に体の中に潜伏した水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経支配領域に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水泡が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「带状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。

带状疱疹は、70 歳代で発症する人が最も多くなっています。

## 2 費用助成の対象者

滝沢市民で、次のいずれかに該当する人

- (1) 令和 8 年度内に 65 歳を迎える人
- (2) 接種日に 60 歳以上 65 歳未満の人で、ヒト免疫不全ウイルスにより、日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある人(身体障害者手帳1級)
- (3) 令和 8 年度内に 70 歳、75、80、85、90、95、100 歳になる人(令和 11 年度までの経過措置)

## 3 接種の期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

## 4 ワクチンの種類、接種回数、費用等

带状疱疹ワクチンには生ワクチン、組換えワクチンの2種類があり、いずれかのワクチンを選んで接種します。

① ワクチンの種類	生ワクチン 「ビケン」(阪大微生物研究会)	組換えワクチン 「シングリックス」(GSK 社)
② 接種方法	皮下に接種	筋肉内に接種
③ 接種回数	1 回	2 回(2 か月以上の間隔をあける*)
④ 带状疱疹に対する予防効果	接種後 1 年時点で 6 割程度 接種後 5 年時点で 4 割程度	接種後 1 年時点で 9 割以上 接種後 5 年時点で 9 割程度 接種後 10 年時点で 7 割程度
⑤ 接種できない人	病気や治療によって、免疫の低下している人は接種できません	免疫の状態にかかわらず接種可能
⑥ 接種に注意が必要な人	輸血やガンマグロブリンの注射を受けた人は治療後3か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた人は治療を 6 か月以上置いて接種してください。	筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する人、抗凝固療法を実施されている人は注意が必要です。
⑦ 助成額	【一般】4,000 円 【生活保護世帯等】8,750 円	【一般】1 回あたり 10,000 円 【生活保護世帯等】1 回あたり 21,950 円
⑧ 自己負担額 (医療機関により異なります)	【一般】約 5,000 円 【生活保護世帯等】0~500 円程度	【一般】約 12,000 円 【生活保護世帯等】1 回あたり 0~500 円程度
	「接種を受ける人の支払(負担)額」は、「各医療機関が設定した接種費用」から「滝沢市助成額」を差し引いた額です。医療機関会計窓口でお支払いください。	

\*病気や治療により、免疫の機能が低下したまたは低下する可能性がある人等は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を 1 か月まで短縮できます。

※ 生活保護世帯等の助成額を適用する場合は、公費負担証明書が必要です。本市で生活保護の認定を受けている人には、事前に送付しています。

裏面に続きます

## 5 医療機関へお持ちいただく物

- ・ 通知文書
  - ・ マイナンバーカード等の住所、氏名、年齢が確認できるもの
  - ・ 自己負担金
  - ・ 身体障害者手帳(「2 費用助成の対象者(2)」に該当する人)
  - ・ 公費負担証明書(生活保護受給世帯等で市から送付された証明書をお持ちの人)
- ※ 予診票は医療機関に備え付けてあります。

## 6 予防接種を受けることができない人、接種に注意が必要な人

「4 ワクチンの種類、接種回数、費用等⑤⑥」の記載以外では、接種前に発熱を呈している人、重篤な急性疾患にかかっている人、それぞれの予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことが明らかな人等はいずれのワクチンをも接種できません。

また、心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する人、予防接種を受けて2日以内に発熱や全身の発疹などのアレルギー症状があった人、けいれんを起こしたことがある人、免疫不全と診断されている人や、近親者に先天性免疫不全症の人がいる人、带状疱疹ワクチン(生ワクチン、組換えワクチン)の成分に対してアレルギーを起こすおそれのある人等はいずれのワクチンについても接種に注意が必要です。

## 7 他のワクチンとの同時接種について

- (1) 带状疱疹ワクチンは、医師が特に必要と認めた場合に、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン等の他のワクチンと同時接種が可能です。
- (2) 生ワクチンについては、他の生ワクチンとは27日以上の間隔を置いて接種してください。

## 8 接種後の注意事項

- (1) ワクチンの接種後30分程度は安静にしてください。また、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。
- (2) 注射した部分は清潔に保つようにしてください。接種当日の入浴は問題ありません。
- (3) 当日の激しい運動は控えるようにしてください。

## 9 予防接種の副反応と健康被害救済制度

ワクチン接種後に次のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチンについては、ショック、アナフィラキシー、ギラン・バレー症候群がみられることがあります。

接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。また、重篤な副反応がみられ、そのために医療を要した場合は、健康被害救済制度が適用となる場合があります。制度の利用を申し込むときは、滝沢市健康づくり課にご相談ください。

主な副反応の発現割合	生ワクチン(阪大微研)	組換えワクチン(GSK社)
70%以上	-	疼痛*
30%以上	発赤*	発赤*、筋肉痛、疲労
10%以上	そう痒感*、熱感*、腫脹*、疼痛*、硬結*	頭痛、腫脹*、悪寒、発熱、胃腸症状
1%以上	発疹、倦怠感	そう痒感*、倦怠感、その他の疼痛

\*ワクチンを接種した部位の症状 各社の添付文書より厚労省にて作成

## 10 問い合わせ先

滝沢市健康こども部健康づくり課 電話019-656-6527(直通)